

2017年11月6日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

**未来を創造する力へ
実践型教育レシピとネットワーク構築に向けて
慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 にて開催 (11/23)**

慶應義塾大学 SFC 研究所 ファブ地球社会コンソーシアムは、慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 にて、セッション「未来を創造する力へ 実践型教育レシピとネットワーク構築に向けて」を開催します。
高校、大学、地域が連携し、テクノロジーを活用した教育コンテンツの提案、実用化をすでに実践している教育関係者から、成果や課題について語っていただきます。ぜひご取材ください。

1. セッション概要

教育現場における ICT 活用が求められる中、「情報」は知識やノウハウの伝達のみならず、デジタルファブ리케이션の普及に伴いモノのデータ化やインターネット化(IoT)も含まれ、より分野横断的な意味を持つようになりました。この研究グループでは、高校、大学、地域とが連携し、テクノロジーを活用した教育コンテンツの提案と充実化を目的としています。本セッションでは、すでに実践している教育関係者を招き、その動機や現場で見えてきた成果や課題を共有し、「これからの教育現場」の新たな連携の可能性を模索していきます。

2. 開催概要

2017年11月23日(木・祝) 11:30 - 13:30

場所：東京ミッドタウン タワー5F インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター 慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 内で実施

WEB サイト：<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2017/>

対象：教育関係者 / 行政関係者(教育委員会等) / 企業関係者 / 意思決定権 / 熱意を持つ個人

領域：STEM / FAB / IoT / テクノロジーを活用した次世代型教育 / 創造・問題解決型教育

3. プログラム

11:30 - 11:40 高大連携ワーキンググループ研究概要

11:40 - 11:45 日本のZ世代における問題提起 (アドビ システムズ 株式会社)

11:45 - 12:30

実践校事例 1: 福岡雙葉高校 (文部科学省 スーパーグローバルハイスクール
指定校)

「JK がものづくりをはじめたら」 現役女子高生によるプレゼンテーション

実践校事例 2: 鳥取城北高校

「高校生 x 魚屋さん」 地域人が協働してつくりあげた市民工房「FL@M」
の活動紹介

実践校事例 3: つくりながら学び・つながる地域と教育機関

FAB 3D CONTEST 2017 を通じた地域連携次世代型教育レシピとネットワー
ク構築

12:30 - 13:30

パネルディスカッション 1: 会場からの質疑応答 / 登壇者同士のディスカッ
ション

パネルディスカッション 2: 全体ディスカッション: 実現へ向けた次のステッ
プ

同日の午後、FAB 3D CONTEST の公開審査及び、授賞式も開催されます。国
内の協力 FAB 施設や教育機関の関係者も集いますので、ネットワーク構築や
具体的な事例を知る機会としてご活用ください。

FAB 3D CONTEST 2017 公式ページ : www.fab3d.org



【本件に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアム 事務局

TEL : 045-319-4763

E-mail : fabearth@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当

TEL : 0466-49-3436

E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp